

とらすととれいん

No.104 2001

APRIL

今世紀最後の運転無事終了



今回は親子での参加が多く、なかなかの賑わいでした(撮影:関西支部の住田さん)

今回の運転は秋の行楽ピークと重なり、今シーズン初の4両増結の7両編成で運転されました。下り・上りとも満員といった状況でした。

<11月26日補修状況>

25日の運転終了後、百楽園で宿泊し、翌26日は客車(オハニ)の補修作業を行ないました。秋晴れの暖かい一日で作業も順調に終わることができました。尚、スハフの2両は大井川鉄道にレンタルとなり、残念ながら補修は次回にということになりました。

ボランティア参加者数 15名

作業内容は、(オハニ1両)

- ・外板のさび落とし、錆び止め塗装、色塗装。
- ・外板のワックス掛け(スハフは前日の運転日に実施)
- ・内装、天井等の補修
- ・オハニ荷物室の整理、不用品の処分
- ・オハニ荷物室のワックス掛け

<11月25日の運転状況>

ボランティア参加者数 40名

乗客 下り 135名

上り 133名

売上 23,000円

募金 20,725円

みなさんのご協力ありがとうございました。

客車もスッキリして、新しい21世紀を迎えられます。

11月26日の補修状況

作業1・外板塗装の浮いた部分の
塗装を叩き落とします



作業2・錆び落としをした後、
錆び止めをスプレーします



作業3・最後にスプレー塗装をして、
応急処置完了

作業4・自動車のワックスを塗ります





作業5・ワックスが乾いたら、拭きとります
右側が拭き取った後

外板補修・ワックス掛け完了
ピカピカになりました



作業6・オハニの荷物室の掃き掃除

作業7・オハニ荷物室のワックス掛け



オハニ荷物室の不用品処分をしてスッキリしました

2000年度鉄道サークル総会

日程・17日

10:30新金谷集合 点呼後、各自会費(クーポン代金9,980円)を支払う

*この間で早めの昼食を済ませておく

11:31発の電車に乗車 11:57家山到着

12:00ボランティア開始

- ・各客車のブラインド上げと窓あけを行い、風邪を通す
- ・スハフ43 各シートのほこりを払いながら、ほつれ等、悪い個所を点検し、シート番号を記録(写真とも)しておく。

床部分の特に悪くなっている個所 お客様が足を引っかけるおそれのある個所の点検と記録(写真とも)

- ・オハニ36 上記スハフと同じ作業

荷物室内の白熱灯の保護のため、準備した保存ケースに入れ替える

- ・最後に書く客車の床掃除を行い、窓、ブラインドを閉め作業終了(14:00)

14:28発の電車に乗車 15:10千頭到着 バスに乗り換え 15:30発 16:10寸又峡温泉着 夕食(18:30を予定)まで自由時間 *急遽、夕食までの間に総会を行うことになった

夕食後、事務局部屋にてミーティング(宴会) 就寝?

18日

8:00朝食 朝食後解散

帰りのバス時刻 11:10/12:25/14:20

*事務局は9:30分のバスで出発。千頭でヨ5000の現状調査とSL資料館のトラスト展示スペースのチェックを行い当地で解散

総会(日程が急遽変更になり、17日夕食前に開催)

昨年度の実績

鉄道サークル見学会

6月10日碓氷峠鉄道文化むらにて開催(参加者18名)

鉄道サークル定例会

第3木曜日に財団事務所にて定期的で開催

トラストレイン運転実績(別項参照)

保存車輛の修理について大きな修理は特になし

ボランティア活動

6月24日 ヨ5000の雨漏りの応急処置

11月25日 スハフ43の外板ワックスがけ

11月26日 オハニ36の外板と荷物室床部分のワックスがけと装備品の整理整頓、車内清掃

その他

客車のにトラスト所有の表示

カラーパンフレットの作成

車内募金者へのポラロイド写真撮影サービス開始

トラストレイン修復募金者へ小煙管を贈呈(7月15日)

トラストレイン修復募金の終了(185口 5,550,000円)

ヨ5000屋根部分にビニールシートを被せる(別紙写真参照)

2001年度のトラストレイン

運転日(別紙参照)

保存車輛の修復計画

- ・スハフ43の一部修理
- ・シートモケット部分の特にひどい個所の張り替え
- ・ワンシートいくらかで募金を募る
- ・損傷がそれほどでない個所の補修方法の習得(いままではつぎあて方式で行っていた)
- ・床、リノニウム部分の張り替え
- ・継続的に補修していく方法の習得

その他

- ・車内販売品の制作(オリジナルキーホルダー)
- ・保護管理委員会の開催(7月14日の運転日を予定)
- ・第4回SL保存(親子)ボランティアの開催(8月25日の運転日を予定)
- ・千頭駅SL資料館のトラスト展示スペースのリニューアル
- ・車内募金の方法を考え直す
- ・本年度行った、寄付者に対する、千頭駅でのポラロイド撮影サービス
- ・以前行われていたうちわサービス
- ・スハフ43のプラモデル(渡辺一男所有 未完成)を作成し、スハフ製造50周年をにかけて、5円から5000円まで、5がつく金額の募金をそのプラモデルの中に入れていただく。その金額によって塗装を進めて行くなど、目標金額まであとどのくらいか、視覚的にわかりやすく示して募金を集める。

*募金に関しては、当分の間、臨機応変に対処していくことになる

2001年度鉄道サークル会費

会費2000円 + 基金2000円 = 4000円を予定

<来年度には基金5000円を修復したい。そのためには、20万円弱、見積額に対し資金が足りない>

鉄道サークル見学会

小湊鉄道とその周辺(上総鶴舞と養老渓谷)

開催時期 - 6月9日(土)

メインテーマ

スハフ43形客車製造50周年記念イベント

記念ヘッドマーク、テールマーク、サボの掲示

案-かもめ、はつかりなどの本物のヘッドマーク、テールマークを募集し、掲示する

*テールマークに関しては、オリジナルが無くても制作する予定。

記念グッズの作成

昔の写真を使用した絵はがき

*「スハフ43とそのよき時代」をテーマにした絵はがき

客車等の歴史についてのヒアリング

*スハフ43の誕生物語を星晃さん等に語っていただきビデオでまとめる。

スハフ44系とスハフ43系関連記事の収集

復元へ向けて

*一両については現状のままで動態保存し、もう一両をできる限り製造当時に復元していく。

*白熱灯が、2001年5月現在で、スハフ一両分に対し、3個足りない。お金を出してでもあと3個どうにか入手し、一両分につき白熱灯化したい。

2000年度鉄道サークル総会(2001年3月17日～18日)

撮影：酒井 誠

今回の総会は、このチケットでスタート!



3月17日雨の中の客車ボランティア



生憎の雨の中、荷物を持って、家山へホームにはC108が居た



家山留置の車両達へ荷物を運び込む



早速、ミーティング



シート等の損傷箇所を調べながら掃除する



オハニの荷物室も整理

総会会場の、寸又峡温泉へ!



本日の宿は、寸又峡温泉「甚平」
なかなか、いい宿だぞ……



「皆様はこちらと案内された…」

予定を繰り上げて、早速、総会



皆さん、真面目に討議中



今年度からテレカに代わって
売り出すキーホルダー

3月18日は朝から晴れ

18日は、千頭のSL資料館の展示品の補修から



車内はこんな様子

続いて、ヨ5000に風を通す



2000年度鉄道サークル総会開催

鉄道サークルでは今年度の活動の締めくくりとして、3月17日～18日にかけて総会を静岡県寸又峡温泉にて行いました。今回は1泊2日のパック旅行も兼ねていたために、定員15名で締め切りとなりましたが、いつも以上に激しいトークバトルが展開されました。

直前になって集合場所や時間が変更されたり、貨物列車が脱線してJRが不通になったりと、嵐の予感を感じさせる初日。それでも予定通り10時30分に全員新金谷駅の待合室に集合。点呼の後、参加費を支払って約1時間の休憩後、11時31分発の電車で家山へ向けて出発。天候はあいにくの雨模様となりましたが、我々の心はいつも以上に増してハイテンションの日本晴れです。

到着後早速作業開始。今回は時間の都合で2時間ほどこ作業できません。そのために内装関係の作業が中心となりました。各車窓を開けて風を通してから、スハフのシートのほつれや床・車体の破損状態を確認・記録していきます。特に床やデッキの天井部分はお客様が直接目にする場所だけに、その痛々しさが伝わってきますが、今回手を加えることはできませんでした。

一方オハニの荷物室では、白熱灯保護のために持ってきたケースに白熱灯を入れ替えました。こちらはスハフと違って客車の状態は最高。以前の見苦しさがうそのように見違えました。改めて修理する事の大切さを教えてもらったような気がします。

いつものようにゆっくりと時間をかけることはできませんでしたが、それでも窓や扇風機を磨き、床を掃除すると、やはり見た目が違います。来月からの運転を前に課題は残りますが、一通りの作業を終えた後の充実感は何物にも変えられません。

家山を14時28分発の電車で後にして一路千頭へ。今度はバスで寸又峡温泉に向かいます。壮大な車窓を眺める人。疲れて眠る人。表情は人それぞれですが、片道40分の所要時間はあっという間に過ぎ去り、16時10分寸又峡温泉に到着。今回の宿泊先である旅館「甚平」に向かいます。予定では夕食まで自由時間だったのですが、「何もすることがない」という事もあり急遽総会を行うことになりました。内容については後述しますが、初参加の方も交えての議論は予想以上の盛り上がりを見せ、2時間という時間があっという間に過ぎてしまいました。

夕食で新鮮な山の幸に舌鼓を打ち、その余韻を味わいながら第2の総会とも言べきミーティングに突入。恒例の自己紹介の後、活発なトークセッションが繰り広げられましたが、一番の話題はこの日東海道本線で発生した貨物列車の事故。しかしテレビのニュースはどこもこの話に触れず、少々肩すかしを食らってしまいました。そして雨の降りきる中、寸又峡の夜が更けていきました。

前日の雨が嘘のようにカラッと晴れた翌18日。本来なら朝食後に総会を行う予定だったのですが、前日に全て終わらせてしまったので早めに撤収することになりました。宿の前で記念撮影をしてから一路バス停へ。再び千頭に向かいます。途中井川線に乗るメンバーと別れな



ビニールカバーが被せられたヨ5000(撮影:鈴木毅一)

がらも我々は千頭に到着。まずは千頭駅に隣接したSL 資料館に向かいます。

資料館に入ると、その片隅にあるトラストレインコーナーに直行。パネルの傾きを直して、はがれた写真も貼り直します。いずれは写真の張り替えなどもしたいところですが、今回は当面の応急処置ということで資料館を後にしました。

次に向かったのは、千頭駅構内に留置してあるヨ5000の所。屋根にはビニールシートが張られたこともあ、り雨漏り対策は万全なのですが、その状態は決して良いとは言えません。車両の今後にしても、本線復帰を前提としてこのまま千頭に留めるのか、それとも家山に持ってきてサークルの事務所として使うのか、結論は出ていません。今度こそ何らかの答えを出さないと、車両の老朽化が更に進んでしまいます。大きな宿題を抱えたまま、千頭を後にしました。

さてこのまま帰るのかと思いきや、参加メンバーの一人である山内氏の知人が経営するカフェが笹間渡にあるとのことなので、急遽そこで下車。目の前に現れたお店は真っ白な壁と板張りのテラスが特徴の綺麗なお店であ、りとても奥大井とは思えません。ビールで乾杯の後オーナーご自慢のキッシュに舌鼓を打つと、気分はまるで清里。味の方もグルメガイドの常連店より遙かに上です。「欧米のトラストはこういう楽しみも活動の一つなんだよね」という米山さんの言葉が心に響きました。今まではトラストレインがメインで後はおまけみたいな感じでしたが、こうした小パーティーを第2のメインにすれば、鉄道に興味のない人でも気軽に参加できるのではないかと。これもまた大きな課題です。

やることはたくさんありますが、一度に全部やるのではなく一つ一つの課題をすこしづつクリアしていけば、よりすばらしい結果を生み出せる。そう信じながらこの日はお開きとなりました。

(岩野弘一)

